

郷土ゆかり作家46作品を展示

市民文化会館で収蔵美術展を開催します

市で所蔵する美術作品を一般公開する収蔵美術展。今回は本県美術の発展に大きな足跡を残した郷土ゆかりの13作家・46作品を展示します。人物、風景、静物などの幅広い画風や個性を鑑賞できます。

日時=1月22日(休)~2月1日(日)(火曜を除く)、午前9時30分~午後5時30分(金土曜は午後7時まで)

会場=市民文化会館

問い合わせは 文化国際課 ☎898-5825

高橋常雄 「クマリ夢幻」



前橋工科大で地域の課題解決に取り組むテーマ募集

医工連携の最前線をテーマに講座も開催します

■地域課題共同研究プロジェクト事業

前橋工科大では、地域が抱える課題を解決するため、教員が取り組める工学的な研究のテーマを募集。また、課題に取り組む研究会の運営を助成します。詳しくは本市ホームページをご覧ください。

テーマ=地域活性化課題研究と技術開発課題研究
対象=個人以外の企業や団体、行政など(選考)

申し込み=2月13日(金)まで(研究会の運営助成は3月13日(金)まで)に所定の申込用紙に記入し、〒371-0816上佐鳥町460-1・前橋工科大地域研究開発センター(☎265-0111)へ郵送、ファクス(265-3837)、Eメール(chiken@city.maebashi.gunma.jp)

■3つの専門講座開催

前橋工科大で専門講座を開講。最先端の研究と技術を学んでみませんか。

日時・テーマ・講師・対象=右表のとおり

会場=前橋工科大

申し込み=各講座開催日の3日前までにEメール(chiken@city.maebashi.gunma.jp)またはハガキで。希望講座番号・住所・氏名・電話番号を明記し、〒371-0816上佐鳥町460-1・前橋工科大「専門講座係」(☎265-0111)へ

| 前橋工科大専門講座 | | | | |
|-----------|------------------------|---------------------------------|---------------------|-----------|
| 講座番号 | 日時 | テーマ | 講師 | 対象 |
| 1 | 1月23日(金) 午後2時30分~4時 | 医工連携の重要性 | 東京CRO代表取締役社長・西山利巳さん | 一般、先着各60人 |
| 2 | 1月28日(水) 午後2時30分~4時 | ガンマナイフとサイバーナイフ、神の手から科学の手へ | 神経機構研究所長・井上洋さん | |
| 3 | 2月4日(水) 午後2時30分~4時 | シナプス可塑性研究における実験生物学と理論生物学の融合の必要性 | 群馬大教授・白尾智明さん | |

共同調理場で臨時職員募集

問い合わせは 教育委員会総務課 ☎898-5810

学校給食を作ってみませんか

市内の学校給食共同調理場で働く臨時の給食調理員を募集。申し込み時に面接を行います。

対象=一般、90人(選考)

勤務場所=学校給食共同調理場

勤務条件など=右表のとおり

申し込み=2月9日(月)・10日(火)の午前9時30分~午後4時(正午~午後1時を除く)に履歴書を用意し、前橋プラザ元気21・51学習室(10日は56学習室)へ直接

| 学校給食共同調理場臨時職員の勤務条件 | |
|----------------------|---|
| 業務内容 | 給食調理・容器洗浄・配送添乗 |
| 勤務場所 勤務時間 勤務形態 | 〈中央・東部・西部・北部共同調理場での給食調理業務など〉午前8時~正午、午後1時~4時45分(待機の週あり) 〈宮城・粕川共同調理場での給食調理業務など〉午前8時30分~正午、午後1時~4時30分(待機の週あり) 〈給食配送添乗業務〉午前9時30分~午後3時(待機の週あり) |
| 賃金 | 時給840円 |
| 雇用期間 | 学期ごとの雇用 |

大地震への備え、日ごろから

大地震が発生すると家屋の倒壊や地割れ、地滑り、陥没などの直接的被害のほか、火災による2次災害を引き起こします。グラツときたら身の安全や家族の安全を一番に考えましょう。1月17日は防災とボランティアの日。家庭でもできる地震対策を講じておきましょう。

問い合わせは 安全安心課 ☎898-5935

家庭でも備蓄を(市備蓄倉庫で)

安心のための5つのポイント

- ①家屋・ブロック塀の安全点検
阪神・淡路大震災では、築30年を越す老朽化した家屋の被害が目立ちました。日ごろから家の内外をチェックし、危険箇所の修理・補強を行い大きな災害に備えましょう。
- ②家の中を総点検
災害時には家の中も危険。背の高い家具、つり式の照明器具などは、転倒・落下防止の措置を。また、食器棚などのガラスには飛散防止策を講じましょう。
- ③家族で防災会議
災害発生時にどうするか、家族の役割分担を決めておきましょう。必要な持ち出し品を話し合い、備えを万全にしましょう。
- ④地域の人々との交流を大切に
隣近所の付き合いを大切にしましょう。自治会、子供会、自主防災会など地域の行事に参加しましょう。
- ⑤わが町を良く知っておく
避難場所を確認し、家族との集合場所を確認しておきましょう。避難訓練などにも参加しましょう。



この標識が目印です

非常用持ち出し袋を用意

被災地に救援物資が届くまでには3日かかるといわれています。持ち出し品はこの間に必要な物を家族構成に応じて準備します。特に乳幼児やお年寄りがいる家庭では、粉ミルクや紙おむつ、食品アレルギーの人がいる家庭では専用食料などを忘れない。

●非常持ち出し品

貴重品(預貯金通帳、印鑑、健康保険証、免許証、現金)、携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池、ろうそく、非常食、飲料水、救急用品、常備薬、丈夫で動きやすい服、下着、靴下、タオル、軍手、雨具、ヘルメット、ライター(マッチ)、洗面具、生理用品など。

●非常備蓄品

簡単な調理で食べられる食品、飲料水(1人1日3日分が目安)、卓上こんろ、固形燃料、鍋、やかん、毛布、使い捨てカイロなど。

●災害で役に立つ物

トイレットペーパー、ラップ、大型ビニール袋、ウエットティッシュ、ボール、ジャッキ、ノコギリ、バイク、自転車。

緊急地震速報

緊急地震速報とは、強い揺れが到達する前に地震情報を配信するもの。震度5弱以上が推定される場合、震度4以上の地域の名前をテレビ・ラジオでお知らせします。ただし震源に近い地域では緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。

緊急地震速報については気象庁☎03-3211-8341へ問い合わせるか、同庁ホームページへ<http://www.jma.go.jp>をご覧ください。